

診断薬・治療薬の研究・開発・製造・販売会社

富士フィルム富山化学株式会社を発足

2018年10月1日

富士フィルム株式会社(社長:助野 健児)は、2018年10月1日付で、診断薬・治療薬の研究・開発・製造・販売を行う富士フィルム富山化学株式会社(社長:岡田 淳二)を発足させました。

富士フィルム富山化学は、診断薬・治療薬の新薬開発を加速させるため、低分子医薬品の研究・開発・製造・販売を行う富山化学工業株式会社(以下、富山化学)と、放射性医薬品の研究・開発・製造・販売を行う富士フィルム RI ファーマ株式会社を統合して、新たにスタートさせた会社です。

富士フィルム富山化学は、新薬の研究などを行う富士フィルムと連携し、アンメットメディカルニーズが高い「がん」「中枢神経疾患」「感染症」領域において、新規の放射性診断薬・治療薬、独自の作用メカニズムを持った治療薬の開発を行っていきます。また必要な量の薬物を必要な部位に必要なタイミングに送達するドラッグ・デリバリー・システムを応用展開した新薬開発も推進していきます。さらに、診断薬のみならず、富士フィルムが持つ体外診断機器・試薬なども活用し、疾患に対する「診断」から「治療」のトータルソリューション展開を拡大させていきます。

富山化学が製造販売承認および販売権を取得した医薬品については、現在、大正富山医薬品株式会社より販売していますが、2019年4月1日以降は富士フィルム富山化学が販売します。尚、大鵬薬品工業株式会社と共同開発した β -ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質製剤「ゾシン[®]」については、製造販売元である大鵬薬品工業が2019年4月1日より販売します。

富士フィルムは、今後、富士フィルム富山化学を中核に医薬品事業を展開し、革新的かつ高付加価値な新薬を創出することで事業拡大を図るとともに、社会課題の解決に貢献していきます。

【富士フィルム富山化学株式会社の概要】

会社名	富士フィルム富山化学株式会社(FUJIFILM Toyama Chemical Co.,Ltd.)
所在地	東京都中央区京橋二丁目14番1号
資本金	4.9億円(富士フィルム100%)
主な事業内容	医薬品(診断薬・治療薬)および関連機器の研究、開発、製造、販売、輸出、輸入
役員	取締役会長 助野 健児 代表取締役社長・執行役員 岡田 淳二 取締役・常務執行役員 安藤 良光 取締役・常務執行役員 石川 俊一郎 取締役・執行役員 小林 弘造 取締役(非常勤) 石川 隆利

取締役(非常勤)	伴 寿一
監査役	藤澤 章
監査役(非常勤)	今田 哲生
執行役員	笠原 裕之
執行役員	山田 亮介
執行役員	三善 隆広
執行役員	山本 卓男
執行役員	森田 敏也

本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

【報道関係】

コーポレートコミュニケーション部

TEL:03-6271-2000

【その他】

医薬品事業部

TEL:03-6271-2171